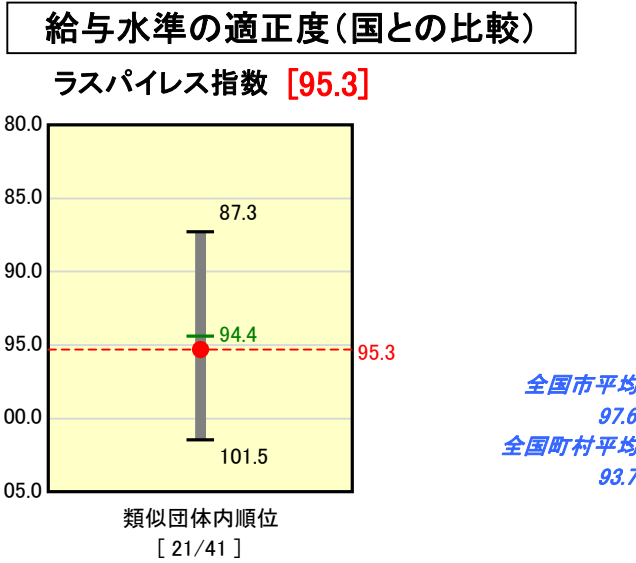
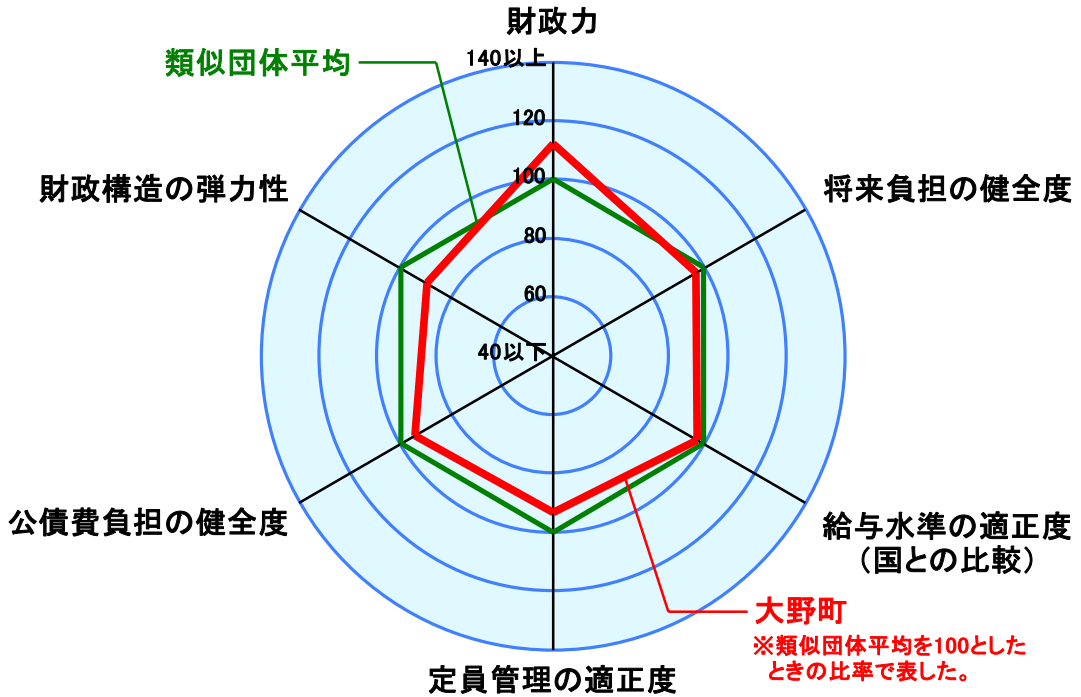
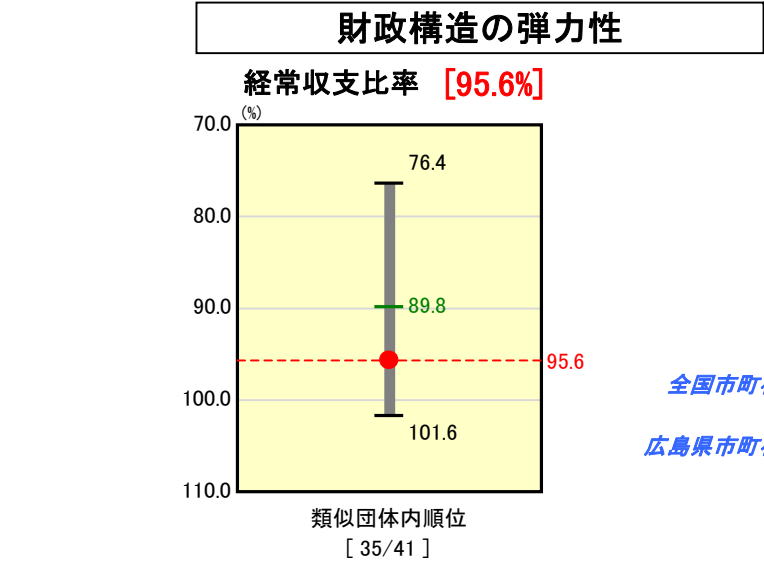
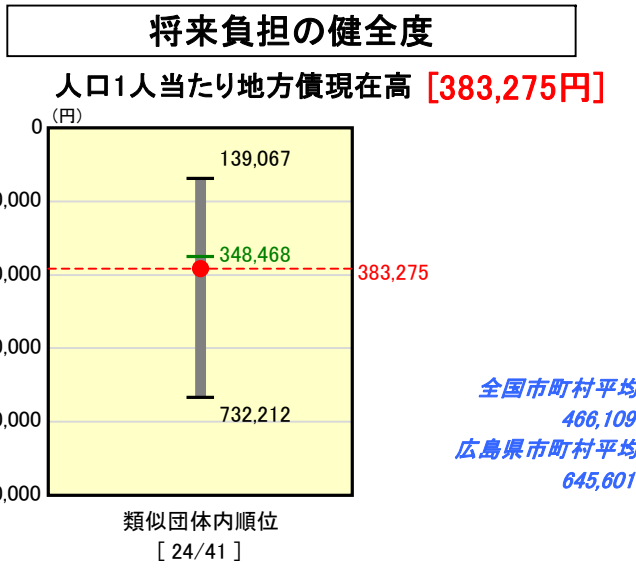
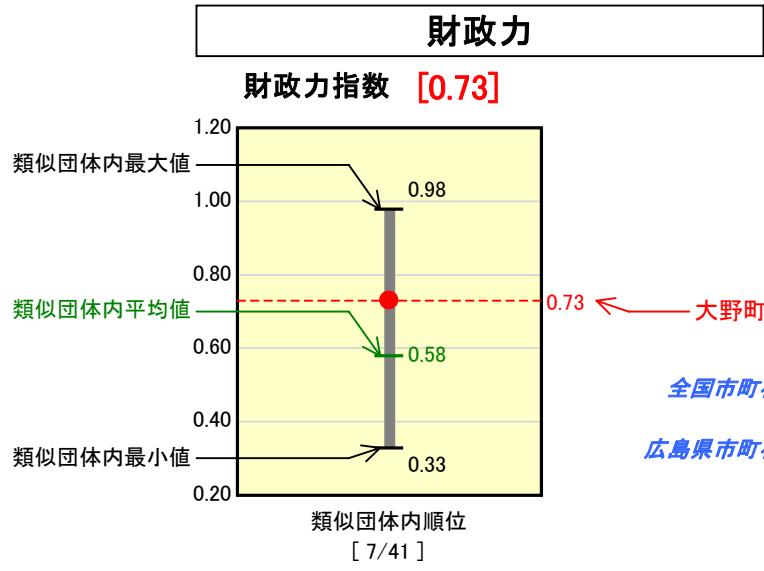


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

広島県 大野町

人口	26,959人(H17.3.31現在)
面積	70.75 km ²
歳入総額	9,621,251千円
歳出総額	9,443,912千円
実質収支	159,818千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・県内中心部への通勤圏内という立地条件にあり、団地開発等により人口及び世帯数は増加の傾向にある。そのため、税収は類似団体と比べ高い水準を維持していることが大きな要因である。

【経常収支比率】
・扶助費及び公債費の増加により95.6%と類似団体平均を上回っている。歳入においては、「三位一体の改革」の影響などにより、普通交付税、臨時財政対策債などの経常一般財源等が減少したことが大きな要因となっている。

【起債制限比率・人口1人当たり地方債現在高】
・平成3～8年に借入れたごみ処理施設に係る償還に伴い、類似団体平均をやや上回っているものの、ここ3年間はほぼ横ばいで推移している。平成12年度から実施している財政健全化計画に基づき、投資事業を抑制してきたことから、交付税措置される臨時財政対策債及び減税補てん債を除く起債残高は減少の傾向にあり、プライマリーバランスも黒字で推移している。

【ラスパイレス指数】
・人事院勧告制度に準じて改正してきており、類似団体平均の近似値となっている。

【人口1,000人当たり職員数】
・保育園設置数が類似団体に比べ多いこと、及び消防本部の単町設置により、類似団体の平均値を上回っている。平成12年度に定員管理計画を見直し、定年退職者の不補充の実施により、平成10年度に302人であった職員数は、平成17年4月1日現在269人と減少している。

